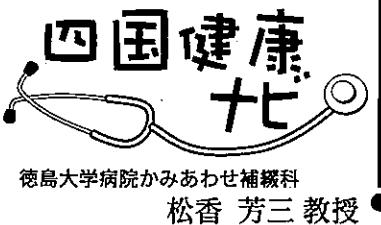


身の回りの金属製品(ピアス、ネックレス、時計など)によって、アレルギー反応が生じる可能性があることが報告されており、そのような方は口の中の金属にも、アレルギー症状(歯科用金属アレルギー)が発現することがあります。

検査は金属成分を背中に貼り付けて、皮膚反応を観察するパッチテストを行うとともに、口腔内の金属の種類を調べます。



身の回りの金属製品(ピアス、ネックレス、時計など)によって、アレルギー反応が生じる可能性があることが報告されており、そのような方は口の中の金属にも、アレルギー症状(歯科用金属アレルギー)が発現することがあります。

そのための検査をします。パッチテストで金属アレルギーが疑われ、口腔内に原因となる金属元素が認められる場合、その金属を除去する必要があります。アレルギー症状の原因となる金属が口腔内にとどまっていると、内服薬や外用薬が効きにくいからです。

歯科用金属アレルギー

徳島大学病院では、1987年より、歯科用金属アレルギーに対する診断と治療を行ってきました。徳島大学病院の歯科用金属アレルギー患者さんは、年々増加しています。歯科用金属アレルギーは口腔内に炎症(口内炎、歯肉炎など)や、舌の痛みが認められるだけでなく、手足に湿疹が認められることが多いあります。

歯科用金属アレルギーが疑われる方は、歯科医院に相談されることをお勧めします。

口の中で歯科用金属アレルギーが生じる方は、歯科用品や日常生活用品などの金属にかかれやすく、皮膚炎になってしまっていることが多い受けられます。特に最近、日本でもピアスが原因と考えられるアレルギー症状を多く目にします。

我々の調査では、歯科用金属アレルギー患者さんが所有していたピアスから高頻度でニッケルが検出されています。そのため、ピアスを購入する場合にはニッケルを含有しているピアスは避け、ピアスにかかる方は金属性ピアスの使用を控えるべきであると考えます。

では、歯科用金属アレルギー患者さんが所有していたピアスから高頻度でニッケルが検出されています。特に最近、日本でもピアスが原因と考えられるアレルギー症状を多く目にします。